

# 会館だより



2014年 4月号

No. 298



公益財団法人 日中友好会館



## 目次

### ご挨拶

- ・平成26年度を迎えて  
(公財)日中友好会館会長 江田五月

### ご案内

#### 《日中友好会館美術館》

- ・貸美術館のご案内

#### 《日中友好後楽会》

- ・定例談話会
- ・年会費お振込みのご案内発送について
- ・春季ハイキング

### 活動記録

- ・「JENESYS2.0」香港高校生訪日団が来日
- ・「JENESYS2.0」参加者の感想

### 事務局通信

- ・各部署のご紹介

### コラム

- ・理事長のツイッター

### 会館行事と人の動き

#### 表紙

中国少数民族「土家（トゥチャ）族」 人口約835万人  
おもに湖南省、湖北省、四川省、貴州省に居住

主な民間工芸は織物と刺繍、彫刻、ろうけつ染めで、中でも“西蘭卡普（シランカプ）”と呼ばれる錦織は有名。食べ物では、発酵させた白菜の酢漬け“酸菜”や豆を発酵させた“豆腐乳”が有名。

※中国文化部発行の「認識中国 五十六民族」から抜粋して、少数民族を紹介します。



## ● ご挨拶 ●

### ■ 平成 26 年度を迎えて ■

公益財団法人 日中友好会館  
会長 江田 五月



今冬は各地で記録的な積雪にみまわれ大きな被害もでしたが、一転して春爛漫の好季節となりました。皆さまお元気でご活躍のことと思います。

昨年は、日中平和友好条約締結 35 周年でしたが、当会館にとっても設立 30 年という節目の年でした。9 月には、関係各位多数にご参加いただき感謝会を開催しました。会館職員や後楽寮の寮生の皆さんも企画に工夫をこらし、楽しく心の通う良い会になりました。

一昨年 9 月に発生した問題をきっかけに、日中関係は困難な時期を迎え、当会館の青少年交流、文化交流、中国語教育等の事業にも大きな影響が出ていましたが、多くの関係の皆さんのご努力のおかげで、昨夏以降は回復の兆しも出てきました。3 月に会館美術館で開催した「日中国會議員・公務員書道展」の北京展も、延期の危機を乗り越え、11 月に無事開催することができました。しかし、年末の安倍首相による突然の靖国参拝から、再び荒波に揺られることとなりました。そのような中ですが、今年 1 月には中国文化部の皆さんの来日も得て、会館美術館で「歓楽春節 2014 中国新春対聯書道展」を開催できたことは画期的でした。

当会館が公益財団法人に移行して、ちょうど 2 年となります。このような困難な時だからこそ、会館の果たす役割はますます重くなります。関係者一同、それぞれの使命を自覚し、力を合わせて全力を尽くしましょう。皆さまの変わらぬご支援を心より願います。

## ● ご案内 ●

### 日中友好会館美術館

#### ◆貸美術館のご案内

日中友好会館1階の美術館では、当館主催展以外の期間に、ご希望の団体・個人への貸し出しを行っております。



面積 260㎡、天井高 2.79m、専用のスポットライトなどがある、本格的な展示会場で展覧会を開催しませんか？

あわせて開幕式、テープカットをご希望の方には、関連用品を一式準備いたします。

4月1日より、翌年度分（2015年4月～2016年3月）の予約を開始いたします。

また2014年度も、まだ余裕のある期間がございます（特に8月、12月、2015年3月など。その他の時期でもご相談を承っております）。



ご興味ございましたら、空き状況や料金など、ぜひお気軽にお問合せください。詳細資料をお送りします。

また、ホームページにも詳細を記載しておりますので、どうぞご覧ください。

<http://www.jcfc.or.jp/shisetsu/museum>

【お問合せ】 日中友好会館文化事業部

TEL:03-3815-5085

FAX:03-3811-5263

E-mail :bunka@jcfc.or.jp



## 日中友好後楽会

### ◆ 定例談話会

4月は寮生が大学の新学期で何かと忙しい時期ですので、次回の談話会は5月にさせていただきます。

詳細は5月号にてお知らせいたします。

### ◆ 年会費お振込みのご案内発送について

2014年度分の年会費（個人会員¥12,000）のお振込み案内は、4月中に会員の皆様へ郵送させていただく予定です。また、後楽会の活動をより内容豊富に活発に行うため、ご意見やご提案を頂戴したく、アンケート用紙を同封いたしますのでご協力をお願いいたします。

万が一、案内が届かない場合やご不明なことがございましたらお手数ですが、事務局までお知らせください。

今年度も会員の皆様と寮生の交流が深まり、中国への理解が更に深まるよう尽力いたしますので、何卒よろしく願いいたします。

### ◆ 春季ハイキング

日時：6月6日(金) 朝8:00  
日中友好会館出発予定

行先：加藤洲十二橋めぐり、  
水郷佐原水生植物園、  
なごみの米屋  
(千葉県佐原、成田  
茨城県潮来方面)

参加費：お一人7,500円  
(バス、昼食、入場料込み)



加藤洲十二橋めぐり

加藤洲十二橋めぐりでは、女船頭が巧みな竿捌きで操るサツパ舟に揺られながら12本の橋が架かる水路を巡ります。また、水郷佐原水生植物園では「あやめ祭り」が開催中で、東洋一の品種を誇る100万株のハナショウブを鑑賞しながら、後楽寮生との交流を深めて下さればと思います。



ハナショウブ



午後は、「なごみの米屋」工場にて和菓子作りの生産ラインを見学する予定です。もしかしたら、おいしいお土産があるかもしれません。お申込みの方には、改めて詳しくご案内申し上げます。



なごみの米屋

【お問合せ】後楽会事務局 小林、大竹、緒方  
 電話：03-3811-5305 FAX：03-3811-5263  
 メールアドレス：kourakukai@jcfc.or.jp



## ● 活動記録 ●

### ◆ 「JENESYS2.0」 香港高校生訪日団が来日

2月4日から2月12日までの9日間、香港高校生訪日団（団長＝劉志遠・香港道教連合会鄧頭紀念中学校長）が来日した。本団は、香港の異なる高校から選抜された高校生と引率の計69名で、外務省が実施する「JENESYS2.0」の一環として招聘した。



日中友好会館江田五月会長（中央）と  
 国会議事堂の議長サロンにて懇談

訪日団は2分団に分かれ、第1分団は愛知県、第2分団は兵庫県を訪問し、学校交流やホームステイを行い、日本の高校生や一般市民との友好交流と相互理解を深めたほか、両県及び東京都、滋賀県、京都府、大阪府にて、大学訪問、地方自治体によるブリーフのほか、「クールジャパン」をテーマにさまざまなプログラムに参加し、政治・歴史・文化・社会に関する包括的な対日理解を深めた。

#### 日本のキャラクター文化について学ぶ

訪日団は、株式会社キャラクター・データバンク代表取締役社長の陸川和男氏より「日本社会におけるキャラクター文化と日本人気質」というテーマでセミナーを受けた。日本でキャラクタービジネスが発達し、キャラクター文化が幅広い世代に浸透した背景などを学び、日本人特有の気質を理解する機会とな

った。日本のアニメやキャラクターは香港でも大変人気があり、高校生からは「日本のアニメ産業はどのような対策や戦略を取っているのか」「中国や香港にも同じような風土があるが、なぜ日本はキャラクター文化が発展したのか」といった質問が挙がり、関心の高さがうかがえた。

### 高校生との交流やホームステイを体験

訪日団は愛知県内3校と兵庫県内2校に分かれて学校交流を行い、各校で熱烈的な歓迎を受けた。英会話や体育、調理実習などの授業に参加したり、茶道や琴などの日本伝統文化や、サッカーやテニス、剣道などの部活動を体験したほか、福笑いやだるまさんが転んだなど日本のゲームと一緒に遊んだり多彩なプログラムに参加し、日本高校生と親睦を深めた。香港高校生も歌や踊り、カンフーなどのパフォーマンスを披露し、拍手喝采をあげた。交流の場面では、お互いの学生生活や好きなアニメ、歌手など、同世代共通の話題で盛り上がり、どの学校でも笑顔に溢れていた。

学校交流終了後は、交流した日本高校生の家庭でホームステイし、ホストファミリーの温かいもてなしを受けた。各家庭で思い出に残る体験をし、別れの場面では、日本の友人、お父さん、お母さんと抱き合い、涙を流しながら名残を惜んでいた。

### 特色ある地域の魅力を堪能

第1分団は愛知県で「愛知県の観光と産業」をテーマにブリーフを受け、徳川美術館やトヨタテクノミュージアム産業技術記念館の参観、七宝焼き体験などを行い、愛知県の歴史や産業について理解を深めた。第2分団は兵庫県で「兵庫県の概要・観光政策」についてブリーフを受け、兵庫県立美術館やカワサキワールドの参観、和ろうそく手作り・絵付け体験を通し、現代と歴史が入り混じる兵庫県の魅力を堪能した。

また、全団合同で立命館大学を訪問し、異文化理解をテーマとした模擬授業や、大学生との交流会に参加した。自然あふれるキャンパスで、日本の大学生活を体験する貴重な機会となった。

このほか一行は、国会議事堂、金閣寺、京都国際マンガミュージアム、津波・高潮ステーション、大阪城等を視察・参観するなど、さまざまなプログラムを通してクールジャパンを体感した。



華道体験で生けた花は  
ホストファミリーへのプレゼント  
(愛知県立木曾川高校)

香港高校生からはこれらの交流活動を通じて、「ホームステイはとても緊張したが、家族全員が温かく迎えてくれて感動した」「日本の高校生活を体験できて嬉しかった」「最先端技術や防災など、さまざまな角度から日本を学ぶことができた」「帰国後、今回の体験を家族や友人に伝え、正しい日本の姿を発信していきたい」など、訪日活動を通じて日本や日本人の新たな面を発見したという声が多く聞かれた。本団の受け入れにご協力下さった関係機関・関係者の皆様に、この場を借りて厚く御礼申し上げたい。

(総合交流部)

## ◆「JENESYS2.0」参加者の感想

アジア大洋州諸国及び地域との青少年交流事業「JENESYS2.0」の一環として  
2013年7月から11月に中国から来日した団員や、  
交流に参加した日本側参加者の感想をご紹介します。

### 《中国高校生訪日団第1陣》

#### 〔中国高校生の感想〕

◇ホームステイの前はとても緊張しましたが、ホストファミリーは私のためにいろいろなことをしてくれました。リュックサックのファスナーが壊れているのを知ると、ちょうど良いサイズのをあちこち探してくれたことを今でも覚えています。私がお寿司が好きだと分かったら、お昼にわざわざ回転寿司を食べに連れていってくれ、また、どこに観光に行くか一緒に話し合ったりしました。



京都府立西乙訓高校訪問・交流  
(中国高校生訪日団第1陣)

想像だけに頼るのではなく、実際に交流してみて初めて相手の考えを理解することができると知りました。私は両国が平和に共存していけることを心から願っています。日本人でなくても、伏見稲荷神社の神様は願いを聞き届けてくれるでしょうか？あの、願いがかなうか試した「おもかる石」は、私にはとても重く感じられましたが、目標までにはまだ距離があるということでしょうか。それでも、日本と中国の平和共存と発展を願っています。

#### 〔日本高校生の感想〕

◇正直、自分の英語力にも自信がなかったし、初めての経験だったので、不安や心配がありました。でも、学校から帰る途中にたくさん話をして、私に分かるように簡単な英語を使ってくれたりして、とても楽しかったです。食事も「おいしい」と言って食べてくれ、夜は中国語と日本語を互いに教えあいました。

ニュースなどで日中関係が悪くなっているのを見ると、本当に心が痛くなります。私は「中国」と聞くと、あまり良いイメージを持っていませんでしたが、今回のホームステイでとても優しく、楽しい1日を過ごせたので、そのような考えを持っていた自分は無知だと思いました。将来、私たちが大人になる頃には、そのような差別や偏見が無くなってほしいと思います。

### 《中国大学生訪日団第2陣》

◇明治大学でのバスケットボール交流は、国別で試合するとばかり思っていたのですが、実際には日中混合チームで行われました。もとよりスポーツに国境はありません。メンバーは自分のチームのために懸命に戦い、絶妙なコンビネーションの数々が見られました。最後には、勝っても負けても、抱き合って称えあいました。国家間がどうであれ、私たち若者にとって、平和こそが共通の願いです。



明治大学でバスケットボール交流  
スポーツを通じて友情を築く  
(中国大学生訪日団第2陣)

◇最も印象深かったのは、明日香村でのホームステイです。

家に向かう車中で聞いた、郷土色香る音楽を、私は忘れない。到着時、一家そろって出迎え、抱きしめてくれた情景を、私たちのために用意されたご馳走の数々を、片言の言葉で行われた熱い語らいの時を、あの幸せな家族の一人一人を、朝の目覚めの時の細やかな配慮を、ここが自分の家ではないかと錯覚したことを、家族そろって、私たちの希望をくんで案内してくれたことを、笑顔の一つ一つを、去っていく私たちを見送るまなざしを、そして、別れの時、思わず流れ落ちた涙を、私は忘れない。

帰国を前にして、家に帰れる嬉しさより、この地を去る名残惜しさで、胸がいっぱいです。



## 《中国青年メディア関係者代表団 第2陣》

◇日本のアニメ文化の発達ぶりや、アニメが経済や政治や文化を先導し、共に発展している姿が、非常に強く深く印象に残りました。世界に知られたハローキティもしかり、地方で大きな影響力を持つ「くまモン」もしかり、さらには厳粛な歴史ある新聞社に至るまで、皆がかわいいキャラクターを持っています。まさに、アニメのないところはない、ユビキタスです。

日本人の熱意溢れるおもてなしと率直さ、そして細部にわたる真面目さも、とても強く印象に残りました。どこに行っても、受け入れ側は我々のために周到な手配をしてくれており、我々の質問にも一つ一つ真摯に答えてくれ、さらに我々から中国の事情を学ぼうと質問もしてくれました。日本人は意見交換の場ではとても率直で、おもてなしの面では非常に根気強く、そして極めて細やかです。

帰国後、私は今回の訪日の内容を全体的に整理し、文章にして、写真とともに同僚や新聞の読者に紹介しようと思います。彼らに日本の一般市民を紹介し、多くの日本人が中日友好の交流事業に携わっていること、日本には中国が学ぶべき多くのプラスの経験があることを知らせたいです。そして、日本人が中日関係の改善を切に望んでいることを、中国の読者に伝えたいと思います。



テレビせとうち・山陽新聞社訪問  
朝刊の作成手順について説明を受ける  
(中国青年メディア関係者代表団第2陣)

## 《中国青年ボランティア代表団》

◇今回の訪問で最も印象に残ったのは、ボランティア活動に従事する年配の方々です。皆さん意欲的で仲が良く、日々の生活を心から愛し、進んで人助けをしています。

釜石市では、被災後の再建現場を視察した際、63歳の静子さんという女性の話に感動しました。彼女の話を通して、災害の恐ろしさと、被災地の住民が受けた深刻な打撃について知ることができました。同時に、日本政府が国民に対して行っている防災教育は十分で行き届いており、こうした教育が多くの人を災難から救ったのだということも分かりました。もちろん、静子さんの仕事に対する責任感と情熱にも、非常に感銘を受けました。

中国ではリタイア後、多くは何もせず家にいて、安らかに晩年を過ごすことが一般的ですが、日本のシニア世代の方は、静子さんのようにボランティアとして積極的に社会活動に参加し、観光客のために現地の状況、風土、名所旧跡を紹介する人が大勢いるように思えました。例えば、中尊寺金色堂では、ある年配のガイドのもとで我々は参観し、東京の日本科学未来館でも、大勢の高齢者が科学館の運営に参加している様子を目の当たりにしました。皆さん活動的で、話の内容も豊富なおうえ、情報も正確で、若者に匹敵する働きぶりだと思いました。

こうした高齢のボランティアの姿に深く感動し、ボランティアは年齢に関係なく、誰もが参加できるものだと思います。ボランティアは、年をとっても一生携わることのできる活動であり、実際に体を使って努力し、社会に貢献していこうと思いました。



釜石港を見下ろす高台から  
被災状況について語り部の説明を受ける  
(中国青年ボランティア代表団)

## ● 事務局通信 ●

新年度を迎え、役職員一同、新たな気持ちで業務に取り組んで参りたいと思います。

このコーナーでは、日中友好会館の事務局紹介など、さまざまな内容をお伝えします。誌面の都合上、不定期掲載とはなりますが、記事を通して弊会館をより一層、身近に感じていただけたら幸いです。

### ◆ 各部署のご紹介

日中友好会館は日中民間交流の拠点として、中国人留学生の宿舎(後楽寮)の運営や、日中青少年交流、文化交流、賛助組織(後楽会)と語学学校(日中学院)の運営など、さまざまな事業を展開しています。

また、日中友好会館美術館・大ホール・ホテル(後楽賓館)・レストラン・オフィス・日中健康センターなど、会館内の施設も多くの方々にご利用いただき、人が集まり、つながり、楽しみ、憩える場所となっています。

これらの業務を担っている、事務局の主な部署をご紹介します。

#### 《総務財務部》

人事や財務、部署間のさまざまな調整など、全体を管理・運営する事務局のキーパーソン



#### 《資産管理部》

快適な空間をつくり安全・安心のために影の努力を惜しまない会館の支柱



#### 《留学生事業部》

日中交流の人材育成の拠点「後楽寮」を運営する、中国留学生の強力なサポーター



#### 《文化事業部》

優れた作品を探索しスポットライトを当てる、中国文化紹介の開拓者



#### 《総合交流部》

日中青少年交流を幅広く実施し、大規模な計画を遂行する青少年交流事業の要



#### 《日中学院》

語学や文化の教育を通じて、日中交流の人材を育成する歴史ある学校



今後、部署ごとのご紹介を掲載していく予定です。

日中友好の懸け橋となるべく、より一層努力して参りますので、これからもご指導ご協力くださいますよう、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

## ● コ ラ ム ●



### 理事長のツイッター

(公財)日中友好会館 理事長 武田 勝年

3月15日(土)、例年通り日中友好会館の公益事業の一つである日中学院の本科、研究科、日本語科の合同卒業式に出席しました。卒業生の人数は、本科19名、研究科6名、日本語科4名と、昨今の厳しい日中関係を反映して往時に比べれば少なかったのですが、卒業生代表の答辞は、その内容、語学力共に素晴らしいものでした。わずか2年間の勉強でこのレベルに達したのは、才能もさることながら、日々懸命に努力を重ねた賜物であろうと感銘を受けました。更に、本科卒業生には定年退職後、中国語を始められた方もおられると聞いて、自分の怠慢を恥ずかしく思った次第です。

私は1962年に大学に入学しました。高校3年生の中国に関する知識は甚だ漠然としたもので、中国農村には人民公社がある、農業政策の失敗で大飢饉らしい、同じ社会主義を標榜するソ連と仲が悪い、劉少奇が毛沢東の大躍進を批判した等の断片的情報を耳にしているだけでしたが、第二外国語として中国語を選択しました。世界地図を広げると、日本の西側に日本海を挟んで中国がある、国土は広大、人口も世界一だ、早晩国交を回復するこの国と仲良くしないで日本社会の安定や経済成長はあり得ないと思ったからです。その後、社会に出てから台湾での語学研修の機会があり、合計16年の現地駐在を含めて約25年間中国関係の業務に携わることができました。苦しいこともありましたが、多くの中国の友人に助けられ、教えられて業務を遂行することができました。

今年日中学院を卒業された方が、その語学力を更に磨き、中国への理解・知識を高め、学習や業務を通じて一人でも多くの中国人との交友関係を深められることを願っています。日本語科を卒業された中国青年は、日本で大学に進学される方や就職する方がおられると思います。現在の日本の実情を是非中国のご両親、知人、友人達に伝えて下さい。同時に中国人の鋭い観察眼を活かして、日本社会の不合理な点や独りよがりやを厳しく指摘して頂きたいと思います。

皆さんには目標をしっかり定めて、人間的魅力を備えた地球人を目指されること、同時に母国を愛する気持ちを忘れないで活躍してされることを期待しています。スローガンで唱える日中友好ではなく、個々人がそれぞれの持ち場で生活や業務を通じて弛まない努力をすることが、日中間の安定した信頼関係の回復に繋がると信じているからです。知中・親中と知日・親日の方々がこの2年間の学習を基礎として、明るい未来を築かれることを信じています。

加油、加油、共同努力。



## 会館行事と人の動き 2/1～28

### ● 会館行事

- 1/29～2/26 ▶ 新春主催展「暮らす・装う・彩る 中国少数民族衣裳展」  
(2/4 同展二胡ミニコンサート)
- 2/ 4～2/12 ▶ 香港高校生訪日団来日 (2/5 同団歓迎会、2/11 歓送報告会)
- 2/ 6、2/20 ▶ 後楽会気功・中国画教室
- 2/21 ▶ 後楽会旅行写真交換会
- 2/24 ▶ 評議員座談会
- 2/25 ▶ 日中学院評議員会

### ● 来館・訪問・面会

- 2/14 ▶ 小田原国際交流協会 小嶋会長宅 訪問 (留学生事業部)
- 2/18 ▶ 上海市対外友好協会 汪小澍副会長他 会食 (宮本副会長、武田理事長、王中国代表理事他)

### ● 行事参加、その他の活動

- 2/ 2 ▶ 北区日中友好協会 春節餃子パーティー (留学生事業部、後楽寮生)
- 2/ 8 ▶ 渋谷区日中友好協会 春節のつどい (留学生事業部、後楽寮生)
  - ▶ 千代田区日中友好協会 新春のつどい (留学生事業部、後楽寮生)
- 2/13 ▶ 中国大使館・日中友好団体 2014年新春会 (江田会長、武田理事長ら会館役職員 他)
  - ▶ 香港駐東京経済貿易代表部・春節レセプション (総合交流部)
- 2/14 ▶ 中国大使館商務処主催 川崎重工見学 (留学生事業部、後楽寮生)
- 2/15 ▶ 東京都日中友好協会 2014年春節のつどい (後楽寮生)
- 2/20 ▶ 横浜華僑総会 春節歓楽会 (武田理事長)
- 2/26 ▶ 岸田外務大臣主催レセプション (武田理事長、小島事務局長)



発行

2014年4月1日発行 第298号

公益財団法人 **日中友好会館**

〒112-0004 東京都文京区後楽1丁目5番3号

電話(03)3811-5317 FAX(03)3811-5263

<http://www.jcfc.or.jp/>